

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公表番号】特表2011-500922(P2011-500922A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-530078(P2010-530078)

【国際特許分類】

C 08 L 59/00 (2006.01)

C 08 L 77/10 (2006.01)

C 08 L 83/07 (2006.01)

F 16 H 55/06 (2006.01)

F 16 H 55/48 (2006.01)

【F I】

C 08 L 59/00

C 08 L 77/10

C 08 L 83/07

F 16 H 55/06

F 16 H 55/48

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i. 75 ~ 98重量%のポリアセタール樹脂と、

ii. 1 ~ 20重量%のp-アラミド粒子と、

iii. 0.5 ~ 5重量%のビニル末端ジメチルシロキサンポリマーと

を含むポリアセタール組成物。

【請求項2】

前記p-アラミド粒子が500μmを超えない、好ましくは150μmを超えない平均最大寸法を有する、請求項1に記載のポリアセタール組成物。

【請求項3】

前記p-アラミド粒子がポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)粒子であり、前記ビニル末端ジメチルシロキサンポリマーが25で150CST~10,000CSTまたは約150CST~約10,000CSTの粘度を有する、請求項1または2に記載のポリアセタール組成物。

【請求項4】

前記ポリアセタール樹脂、p-アラミド粒子および前記ビニル末端ジメチルシロキサンポリマーを混合する工程を含む、請求項1~3のいずれか一項に記載のポリアセタール組成物の製造方法。

【請求項5】

好ましくはペアリング、ギア、カム、ローラー、滑り板、滑車、レバー、ガイドまたはコンベヤシステム構成部品である、請求項1~3のいずれか一項に記載のポリアセタール組成物から形成された成形品。